

「風の人」5号(通巻13号)THE MAN IN THE WIND

Free ! SHIROSAKI

- 1 風の人 タク라마カン砂漠の風はどんな味がするのだろう
- 2 No5(通巻13号) '98. 4月号
- 3 98年4月30日発行 年間購読代千五百円
- 4 城崎さんと共に浮かぶ会・神奈川
- 5 郵便振替 00260・4・86033
- 6 東京都港区新橋2-8-16石田ビル4F 救援連絡センター
- 7 川崎市幸区古川町66 関 博明
- 8 大和市大和東3-3-7~201(0462-61-8450) 桧森孝雄

城崎さんへ風の香りを乗せたシグナルを
城崎さんはテキサスへ移りました

四月半ば、城崎さんからお母さんへ手紙が届いたとの知らせが入りました。その後どうしているのか、郵便物の幾つかが返送されていた中での便りでしたから一安心です。どうも無一文の状態でオクラホマに送られ、そのままテキサスへ移されたようで、切手も封筒もなく同房者からもらってようやく手紙したようです。

20日過ぎ、もう一通の手紙が城崎さんから届いたとの知らせが入り、少し詳しい事情が伝わってきました。城崎さんの新しい住所は次の通りですので、風の香りを便りしていただければ、と思っています。日本語でも英語でもかまいません。

新住所(New Adress)

Mr. T. Shirosaki
20924-016
U. S. P
POBox 26030
Beaumont. TEXAS
77720-6030
U. S. A

城崎さんとの通信が確保されますように

昨年11月の有罪評決以降とくに、日本の救援会からの手紙類は入りにくくなっていました。11月の集会アピール文も今年になってようやく城崎さんの手に渡ったことが確認され、集会で書いていただいた寄せ書きと11月集会を受けてまとめた救援方針文書とは今なお城崎さんへ渡っていないことが確認されています。城崎さんからは今年1月の大阪集会へのアピールが届いていないことは、前号でお知らせした通りです。城崎さんのNo. を付した今年の手紙は数はそろっていますが、中身がそろっていないのです。3月に入って送られた手紙類では、城崎さんが入手できたと確認できたのは救援会以外の2通のみで、「転居先不明」や「名あて国から返送理由が明示されずに返送」が相次いできました。

こうした通信状況の一端からしても、米国政府の姿勢は明らかです。通信や獄中処遇を巡って

実に様々な訴訟が相次いでいる米国事情を知るにつけ、生活の権利は闘い取るものでしかないんだなあと改めて思い知らされています。

他方、城崎さんは弁護士のタッカーさんへ所持品(金)の送付を依頼したところ、急ぐ必要もないとの返事もらったようです。とりあえず、百ドルだけマネー・オーダーで救援連絡センターから送ってもらったのですが、これが受取拒否されるようだったら別の方途を手立てしたいと思っています。なお、在米の人権活動家の一人からは、城崎さんがタッカーさんを弁護人としているのは恥であるとの手紙をいただいております、有罪評決以降の城崎さんの孤立状況を憂慮しています。

様々な障害と課題がますます明らかになってきていますが、裁判の要である「被告-弁護人-救援」の関係を創りあげていくために、今一度、城崎さんとの交通を確保したいものだと願っています。皆さんからの知恵と力をお待ちしています。